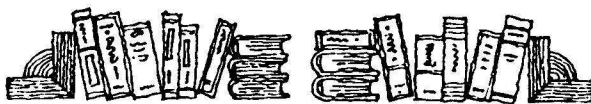


国語国文学会だより



No. 47

2012.10

日本文学科卒業生の会

国語国文学会

春の総会・研究発表会報告

平成二十四年度春の総会・研究発表会を五月二十四日（木）、成瀬記念講堂にて開催しました。

◆第一部 総会

(1) 国語国文学会会長挨拶

平館英子先生

(2) 奨学金授与

日本女子大学日本文学科賞（奨励賞）

学部四年次 柴田葉月氏

学部四年次 平成二十三年国語国文学会

委員三年生一同

院博士課程前期二年次 平野恵子氏

日本女子大学日本文学科賞（優秀賞）

学部一年次 水内友美氏

久松潜一記念奨学金

学部四年次 白鳥藍氏

上村悦子奨学金

院博士課程前期二年次 昼間真理氏

茅野蕭々・雅子記念奨学金

院博士課程後期三年次 曾和由記子氏

青木生子賞

NPO法人「フー太郎の森基金」理事長・

相馬市市議会議員 新妻香織氏

慶応義塾大学経済学部教授 津田眞弓氏

(3) 第一回青木生子賞受賞者挨拶

(4) 国語国文学会委員長挨拶・役員紹介

（学生の会・卒業生の会）

(5) 平成二十三年活動・決算報告

(6) 平成二十四年度活動計画案・予算案・監査選出

(7) 自主ゼミ発足（学生の会）・卒業生の会、承認

◆第二部 活動報告と研究発表

▼自主ゼミ活動報告

・「学生の会・上代ゼミ」

原田ななこ氏

・「卒業生の会・皇女研究会（書面）」

柳澤理恵子氏

▼研究発表

・「コンピュータ用語における外来語の考察

ー外来語とよりよく共生していくためにはー」

佐藤衣央氏（新制六十二回生

平成二十三年国語国文学会賞受賞）

▼交換留学生紹介及び挨拶

学部三年次 ソニア・ゴンザレス氏（オレゴン大学）

ニコル・バートン氏（ウェルズリー・カレッジ）

秋季大会・公開講演会のご案内

▼日時 平成二十四年十二月一日(土)

十三時半～十六時(予定)

▼場所 百年館低層棟二〇六教室(予定)

▼公開講演会

「源氏物語の時間」

高田祐彦氏

☆講師略歴

高田祐彦(たかだ ひろひこ)

青山学院大学文学部教授。専門は、『源氏物語』を中心とした、平安時代の文学。主著に『源氏物語の文学史』(東京大学出版会、平成一五年)、『新版 古今和歌集』(角川学芸出版、平成二一年)、共著に『仲間と読む源氏物語ゼミナール』(青簡社、平成二〇年)など。

▼講演

本学准教授 大谷康晴先生

▼懇親会

講演会終了後、七十年館一階サロンにて

会費(予定) 三〇〇〇円 (学生一五〇〇円)

*研究発表会

一日 十時～十二時(予定)

発表者募集

詳細は四面参照

平成二十三年卒業生の会活動報告

(1) 総務

- ・ 回生委員会・常任委員会の招集
- ・ 春季大会・研究発表会の開催 五月二十六日(木)

(2) 企画

- ・ 自主ゼミの活動
- ・ 皇女研究会

・ 文学散歩 十月二十七日(木)・十二月二十一日(水)

子規庵・書道博物館等を見学

・ 秋季大会の開催

研究発表大会・総会・講演会・懇親会

(3) 会計

・ 会費納入の確認

・ 収支・運営・備品の完備など

(4) 編集

・ 「国語国文学会だより」の発行

四十四号(秋の大会報告号 五月)

四十五号(春の大会報告号 九月)

・ はがき通信 五月(春の総会案内「たより」同封)

平成二十四年度卒業生の会活動計画

(1) 総会

・ 春季総会・研究発表会の開催 五月二十四日(木)

(2) 企画

・ 自主ゼミの設立

皇女研究会(国史を読む)

・ 秋季大会の開催

研究発表大会・総会・講演会・懇親会

・ 文学散歩の実施予定

(3) 会計

・ 会費納入への協力依頼

・ 活動充実のための備品の整備・購入

(4) 編集

・ 「国語国文学会だより」の発行

秋の大会報告号 四十六号(五月)

春の大会報告号 四十七号(九月)

平成二十四年度常任委員

総務 立川和子(新1) 関根緑(44)

企画 岩切匡子(新4) 金石教子(新12)

永井幸子(新1) 大平妙子(新24)

鹿又恵美子(新32)

会計 津田英子(新6) 斉藤雅代(新19)

編集 遠間倫世(新54) 鈴木ちよ(新56)

平成二十四年度研究サークル

*皇女研究会(皇女総覧平安朝篇の作成)

不定期 土曜日 午前十時半

大学図書館共同研究室

・ 柳澤理恵子 TEL 〇四五(八四二) 六五二五

○『国文目白』第五十一号ができました。ご希望の方は葉書で左記までお申し込みください。

〒一一二・八六八一 文京区目白台二・八一

日本女子大学日本文学科研究室『国文目白』係

代金は、冊子到着後に払い込んでください。

(送料別 八百円)

国文目白第五十一号

現代日本における『老子』の受容―加島祥造の著作

を中心に― 谷中信一

『古今和歌集』の構造と配列―恋の部を中心に―

谷崎たまき

小野に吹く風―潮廻舎文庫蔵、紹巴奥書本源氏物語の異文から― 一文字昭子

「家の物語」としてみる「今とりかへばや」―「世づかぬ」異性装 伊達舞

延慶本「平家物語」に見る平重衡往生譚 石澤侑子

「日本永代蔵」巻四―二 「心を疊込古筆屏風」挿絵についての一考察 滝川知佳

岡本かの子「母と娘」―密着から自立へ／戦争協力から反戦へ― 近藤華子

「金閣寺」論―金閣寺の構造と美の概念― 田代あゆ

村山知義「死んだ海」三部作―女たちの「愛情の問題」をめぐる一考察― 鴨川都美

森鷗外「牛鍋」の再解釈―「渴してゐる日」の真意― 有賀ひとみ

西王母と桃の関係性―不死の薬と仙桃・蟠桃― 若林歩

真偽疑問文に対する否定応答の分類―「いいえ」の有無と話し手の意図を基準として 吉田史沙

書きことばに現れる「ません」と「ないです」 落合智子

〔書評・紹介〕 〔彙報〕

研究室だより

○昨年度、源五郎先生（近代文学）が退職され、後任に山口俊雄先生（近代文学）が着任されました。

○今年度、高野晴代先生（中古文学）が一年間の研修に出られました。

○昨年度、研修に出られていた坂本清恵先生（日本語学）が帰任されました。

○他の先生方は昨年と変わりありません。

○今年度の先生方です。

平舘英子先生（上代文学）

石井倫子先生（中世文学）

福田安典先生（近世文学）

倉田宏子先生（近代文学）

山口俊雄先生（近代文学）

清水康行先生（日本語学）

坂本清恵先生（日本語学）

谷中信一先生（中国思想史）

大谷康晴先生（図書館学）

江田すみれ先生（日本語教育学）

田辺和子先生（留学生教育）

○研究室には、昨年度と同じく助教の鈴木美穂さん、助手の白石美鈴さんが常勤で詰めています。

○非常勤助手は、ご退職された宮本祐規子さん、小林梓さんの後任に、今年度より遠峯瑞希さん、岩田芳子さんをお願いしています。

○大学院談話会が七月一九日（木）の午後開かれ、源五郎先生が「演劇史と文学史あるいは戯曲史とのクロスワード」と題してお話くださいました。院生や教員だけでなく、卒業生の方々もおいでくださ

り、東西にわたる先生の学識の深さを堪能させていただきました。ありがとうございました。

○国語科教員の会が七月二八日（土）の午後、国語科教員の卒業生をお招きして開かれ、教員志望の学生もたくさん参加しました。教育活動報告として、

前新渡戸文化中学高等学校校長本裕子氏が「人間万事塞王が馬―三十五年の教員生活より」と題してご自身の経験を踏まえながら、教員としてあるべき姿をお示しくださいました。卒業生の皆様全員からも厳しくも温かいメッセージをいただきました後、福島県立福島高等学校教諭鈴木ひろみ氏が「フクシマ」の教員として生きる」と題して、昨年度の東日本大震災の中での教員としての活動をお話しくださいました。感銘深いお話を伺えた充実した時間でした。日本文学科では国語科教員採用情報ネットワークで、教員採用情報や日本文学科の行事などをお知らせしています。教員免許をお持ちでご関心のある方はnichibuninfo@iwu.ac.jpにご登録ください。○国語国文学会の本年度の担当は、石井先生、大谷先生と岩田さんです。

▼文学散歩

今年度は、都合により中止となりました。

▼住所変更

ご住所を変更された際は、住所変更届のご送付をお願いいたします。郵便物が多数戻つてまいりますので、よろしく願ひいたします。

連絡先：〒一八四〇〇一五

小金井市貫井北町一―二一―一〇 立川 和子

◆研究発表会 発表者募集

- ・日 時 平成二十四年十二月一日(土)
- ・発表時間 三十分、質疑応答十分
- ・応募資格 本学国語国文学会の会員であること
- ・応募方法 論題に四百字以内の発表要旨を添えて
文書で申し込むこと
- ・応募先 日本文学科研究室内「国語国文学会
秋季大会研究発表者募集係」宛
- ・締切り 平成二十四年十一月十日(土)
- ・選考方法 国語国文学会において選考を行い、
選考結果は後日、個別に通知いたし
ます。

○会計より

振替用紙を「春のたより」で同封いたしました。
本年度会費千円の納入を十一月末日までお願いいたします。会費の納入率の減少が続いておりますので、今一度ご確認のうえ、よろしくご協力お願い申し上げます。

二〇二二年一〇月一日

発行・日本女子大学日本文学科

国語国文学会卒業生の会

〒二二八六八一

東京都文京区目白台二八六一
日本女子大学 日本文学科内